

# センター活用事例

冬のメインフードメニューはスープカレー。野菜などの食材はできるだけ地元のものを使い、地産地消に貢献したいという。



## 専門家派遣事業

### 夫の定年退職を期に新天地に移り住んでカフェを開店

人気のテレビ番組『人生の楽園』さながら、都市の暮らしから離れて自然豊かな山里に移り住み、趣味の料理づくりの経験を生かしてカフェを開業。専門家の親身な指導で素人感覚を払拭し、プロの経営者としての成功を目指す。

#### 第二の人生の地に横手市山内を選ぶ

横手市の国道107号沿い、道の駅さんないの奥に、平成25年9月、「隠れ家Café SYANA(しゃな)」がオープンした。経営者は盛岡市から移住してきた遠藤育子さん。

「夫の定年退職を期に、自然豊かな山里に移り住みたいと考えて場所探しをしていてここに辿り着きました」(遠藤さん)

この場所と決めてから遠藤さんは思い出したことがあるという。子供たちが小さかった頃、家族で盛岡市から秋田ふるさと村に遊びに来た帰り、道の駅さんないに立ち寄ったところ、この場所にとってもいい“気”のようなものを感じていたのだと言う。何か目に見えないものに導かれてこの地に辿り着くことになったのかもしれない。

#### 専門家の指導で経営にプロの自覚を

ものをつくるのが好きで人とのつながりの場を持ちたいと考えていた遠藤さんは、生活の糧としてこのカフェを開店させることになった。

最初は、前々から好んでつくっていたキッシュをメインにし、後にランチメニューとしてスープカレーも

加えた。

本格的に商売を始めるにあたって、あきた企業活性化センターの専門家派遣事業を活用し、フードコーディネーターから多面的なアドバイスを受けた。具体的には、店の方向性、メニュー構成、予算の立て方などで、プロの経営者として甘えのない経営をするようにとの指導も受けた。それがなかったら素人感覚のままの商売になっていたかもしれないという。

地域の活性化も考えて食材はできるだけ地元から調達するようにしている。地元の農家とも交流を深めていきたいと考えている。

#### 地域の人々の交流拠点にしていきたい

盛岡時代に子育て支援などの社会貢献活動にも取り組んできた遠藤さんは、山内でも様々な勉強会を開いたり、手づくり品を持ち寄って展示販売をしたりと、人と人のつながりを広げていく手伝いをしていきたいという。Café SYANAは、その拠点としての役割も担うことになる。

営業は、平成26年1月15日まで冬期休業。その後は毎週火曜日と第1・3水曜日が定休日。

#### 隠れ家Café SYANA(しゃな)

〒019-1108

秋田県横手市山内土淵字小目倉沢43-2

Tel. 090-2021-8558

営業時間/7:00~18:00

定休日/火曜日、第1・3水曜日



- 1 今後は人々の交流の場としても活用していきたいという店内。
- 2 飼っているペットと店主の遠藤育子さん。店のオープンスペースはペット同伴での利用が可能。
- 3 Café SYANAはキッシュ(卵とクリームをパイ生地流し込んで焼いたもの)の店としてスタートした。遠藤さんが主婦時代からつくっていた自慢の一品。
- 4 道の駅の一隅にあった陶芸工房を譲り受けて住居兼店舗にした。

#### 事業の解説

##### 専門家派遣事業

創業や経営の向上を図ろうとする中小企業者等が抱える様々な課題に対し、当センター登録の民間専門家を派遣し、課題解決のための診断・助言を実施します。

【制度の利用・お問い合わせについて】

あきた企業活性化センター/企画・総合相談担当まで。